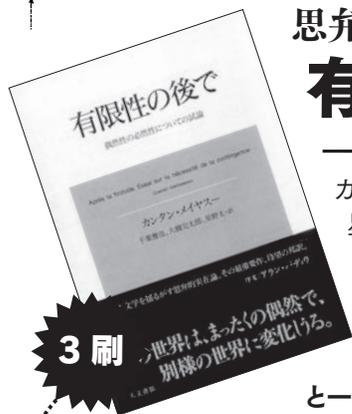


現代思想（哲学）が元気です！ 地球環境や資本主義社会を見据えながら、ポストモダン、ポスト構造主義を批判的に乗り越えようとする流れがきています。



思弁的実在論の出発点 有限性の後で

—偶然性の必然性についての試論

カンタン・メイヤスー著、千葉雅也・大橋完太郎・星野太記

2016年、四六判上製 236頁、本体 2,200円
ISBN 978-4-409-03090-5

★思弁的実在論の潮流をつくった急先鋒メイヤスーの著書。『世界はなぜ存在しないのか』と一緒に売れています。序文＝アラン・パティウ

新しい実在論
創始の仲間

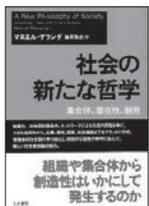


四方対象 オブジェクト指向存在論入門

グレアム・ハーマン著、岡嶋隆佑監訳

2017年、四六判並製 240頁、本体 2,400円
ISBN 978-4-409-03094-3

★思弁的実在論とともに現代哲学の新潮流をなすオブジェクト指向存在論、その第一人者による入門書の決定版。



社会の新たな哲学 集合体、潜在性、創発

マヌエル・デランダ著、篠原雅武訳

2015年、四六判並製 240頁、本体 2,800円
ISBN 978-4-409-03089-9

★有機体的社会観の乗り越えと、偶発的な創発の解明に挑んだ、新しい社会実在論の試み。

他社関連本 ぜひおとなりに！

世界はなぜ存在しないのか

マルクス・ガブリエル著、清水一浩訳、講談社メチエ
本体 1,850円、ISBN 9784062586702

神話・狂気・哄笑—ドイツ観念論における主体性

ガブリエル/ジジック著、大河内泰樹・斎藤幸平監訳、堀之内出版
本体 3,500円、ISBN 9784906708543

ラディカル無神論—テリダと生の時間

マーティン・ヘグルンド著、吉松寛他訳、法政大学出版局
本体 5,500円、ISBN 9784588010620

モノたちの宇宙—思弁的実在論とは何か

スティーン・シャヴィロ著、上野俊哉訳、河出書房新社
本体 2,800円、ISBN 9784309247656

実在への殺到

清水高志著、水声社、本体 2,700円、ISBN 9784801002784

現代思想（青土社）

2018年1月号 特集＝現代思想の総展望

★千葉雅也さんによるわかりやすい総括が載っています。

2018年3月号 特集＝現代思想の316冊

6月にはマルクス・ガブリエルが来日！東京・京都で講演予定です。



人新世の哲学 思弁的実在論以後の「人間の条件」

篠原雅武著

2018年、四六判並製 260頁、本体 2,300円
ISBN 978-4-409-03096-7

★哲学と環境問題をつなぐ新たなキーワード「人新世」。青土社からも先月末『人新世とは何か』が刊行されました。



プロトコル

アレクサンダー・R・ギャロウェイ著、北野圭介訳

2017年、四六判並製 420頁、本体 3,800円
ISBN 978-4-409-03095-0

★ネット社会を制御する論理＝プロトコル。そこから現代社会を読み解きます。

既刊情報 在庫チェックの上、品切れなどございましたらぜひご注文ください。



モスクワの誤解【大活字版】

ボーヴォワール著／井上たか子訳、2018年

ISBN 978-4-409-13039-1、四六判 172頁、本体 2,200円

★ボーヴォワールの未邦訳の小説が登場。ソ連に訪れた老カップルのすれ違いと和解を描きます。サルトル・ボーヴォワールの往年のファン必読。

文芸／実存主義



灰色のユーモア —私の昭和史

和田洋一著、2018年、ISBN 978-4-409-52069-7、四六判 304頁、

本体 2,500円

★悪法の時代をどう生き抜くか。特高の取り調べを受ける日々をコミカルに綴った表題作ほか、昭和史の核心を突くエッセイ群を収録しています。【解説＝鶴見俊輔／保阪正康】

歴史・昭和史



天皇制と民主主義の昭和史

河西秀哉著、2018年、ISBN 978-4-409-52068-0、四六判 300頁、

本体 2,500円

★昭和天皇は何度も訪れた退位の危機をいかにして乗り越え、「象徴」となったのか。今上天皇退位で揺れるいま、あらためて天皇制を考えるきっかけに。

歴史・昭和史

★読売新聞（4月8日朝刊）に ★書評掲載予定！

松本卓也（京都大学准教授）著

享楽社会論—現代ラカン派の展開

四六判並製300頁、ISBN 978-4-409-34051-6、本体 2,200円

★3月末に明石書店から論集『つながり』の現代思想が刊行。松本卓也さんも編者として参加しています。

★同著者の既刊『人はみな妄想する』（青土社）も動いています。また講談社メチエから荒谷大輔『ラカンの哲学—哲学の実践としての精神分析』が出るなど、むずかしい分野ではありますが、類書の新刊が豊富です。



新刊予告

あす **明日の前で** カトリーヌ・マラブー著、平野徹訳 **6月予定**

千葉雅也さんのフランス時代の師匠、マラブー女史の新作。メイヤスーの思弁的実在論を批判する刺激的な書です。

モラルの話 J・M・クツェー著、くぼたのぞみ訳 **5月予定**

ノーベル文学賞作家クツェーの新作短編集を、英語オリジナル版に先駆けて刊行。ハイデガーなど哲学者も登場し、現代思想やポストコロニアリズムに関連します。

人文書院 FAX 番号 **075-603-1814** ※フリー入帳いたします（了解者：佐藤）

追加注文書	番線印	冊	有限性の後で 本体価格 2,200円＋税 / ISBN 978-4-409-03090-5	冊	享楽社会論 本体価格 2,200円＋税 / ISBN 978-4-409-34051-6
		冊	四方対象 本体価格 2,400円＋税 / ISBN 978-4-409-03094-3	冊	モスクワの誤解 本体価格 2,200円＋税 / ISBN 978-4-409-13039-1
		冊	社会の新たな哲学 本体価格 2,800円＋税 / ISBN 978-4-409-03089-9	冊	灰色のユーモア 本体価格 2,500円＋税 / ISBN 978-4-409-52069-7
		冊	人新世の哲学 本体価格 2,300円＋税 / ISBN 978-4-409-03096-7	冊	天皇制と民主主義の昭和史 本体価格 2,500円＋税 / ISBN 978-4-409-52068-0
		冊	プロトコル 本体価格 3,800円＋税 / ISBN 978-4-409-03095-0	冊	

株式会社 人文書院

（了解者：佐藤） 〒612-8447京都市伏見区竹田西内畑町9 TEL075-603-1344